

# “バイトアップ” Q & A

## バイトアップとは

Q 1 : バイトアップとは？

A : 光重合併用型常温重合レジンで、レジン歯咬合面の再形成専用レジンです。

Q 2 : 特長は？

A : 従来の即時重合レジンのように常温で化学重合し、その後さらに光重合することによって二次硬化するために従来の即時重合レジンの硬さ（Hv10~12）よりも50%程度硬度が増します。このことにより耐磨耗性が向上し、アクリル樹脂本来の硬さ（例：レジン歯の場合はHv18.4）に近似（Hv17.1）するようになりました。

Q 3 : 用途は？

A : ①耐磨耗性が求められるレジン歯咬合面の再形成  
②歯周補綴やインプラント上部構造などの耐久性が必要な暫間被覆歯冠

## 咬合面再形成

Q 4 : どんな人工歯にも使用できますか？

A : 本品の適応対象人工歯は、硬質レジン歯、汎用レジン歯、ポリカーボネート歯です。陶歯には接着いたしませんので適応外になります。  
なお、硬化後の硬さはレジン歯（Hv18.4）よりもやや低めの硬さ（Hv17.1）です。

Q 5 : 咬合面への盛り上げ方は？

A : 咬合面への盛り上げ方にはシリンジ法、圧接法、筆積み法の3通りがあり、付属の専用シリンジを用いると咬合面への均一な厚みの盛り上げが簡単にできるようになります。

Q 6 : 咬合の中心位の求め方は？

A : 村岡 博先生考案による無歯顎用『セントリックロケーター』を用いると、下顎の最前上方位が容易に再現できます。

Q 7 : 保険点数は？

A : 有床義歯修理（咬合面レジン添付再形成）で請求します。間接法では印象とバイトで請求します。咬合面再形成と床の裏装は同日の請求ができませんので、日を替える必要があります。  
一旦、咬合面再形成を請求すると半年以内の義歯再製はできませんので、新しく作り変える予定のある場合の請求は義歯の破損になります。

## 歯周補綴用暫間被覆歯冠

Q 8 : 咬合面再形成以外の用途は？

A : 歯周補綴やインプラントの上部構造など比較的長期にわたって経過を観察する必要のある場合、最終補綴物のかわりになるものとして耐久性のある暫間被覆歯冠が求められております。  
本品は常温重合レジンの中でも硬度が高く、このような症例に好適です。

# “バイトアップ” Q & A

## 重合方法

Q 9 : 重合方法は？

A : 化学重合（常温重合）と光重合のダブルキュアです。常温重合が先行した後、光重合で未反応モノマーを残さず反応させますので、重合率が上がり硬度が増します。また、このときの光による重合時の収縮は、非常に少なくほとんど発生いたしません。

Q 10 : どんな光重合器が必要ですか？

A : 咬合面再形成の場合は多数歯にわたりますので、市販の技工用光重合器で光照射します。なお、硬化に要する照射時間をご使用の技工用光重合器の取扱説明書等によりあらかじめご確認ください。なお、暫間被覆歯冠などの単冠の場合は、コンポジット充填用光照射器を接近して用いれば、光重合（二次硬化）いたします。

Q 11 : 後日での光重合は可能か？

A : 原則として同日に光重合してください。

Q 12 : 小分けされた粉の保管方法は？

A : 筆積み用に小分けされた粉は光に反応しますので、必ず遮光をして保管するようにしてください。

## その他特性

Q 13 : 硬化時間は？

A : 常温での硬化時間は粉液混合後、約4分と比較的早めになっておりますが、夏季などでは特に早くなりますので、この場合は液を冷蔵庫保管するか、液量を少し多めにすることによって硬化時間を調節してください。

Q 14 : 色調変化は？

A : 光照射前はやや黄色を呈しておりますが、光重合後は本来の歯冠色に変化いたします。また、経時変化による色調の劣化（黄変化）は従来品よりも少なくなっております。

## 表面滑沢剤

Q 15 : 表面滑沢剤の塗布は？

A : 光重合の後、表面保護のため表面滑沢剤を塗布してください。但し、ブラシ等で強くこすると傷つきやすいので、レジンの表面研磨を行ってから塗布するようにしてください。

Q 16 : 表面滑沢剤の刺激は？

A : 塗布直後は刺激がありますので、エアでよく乾燥し、水洗または温水中にしばらく浸けてから装着するようにしてください。

## 価格

Q 17 : 使用回数は？

A : 下顎総義歯全顎で約30回分使用できます。